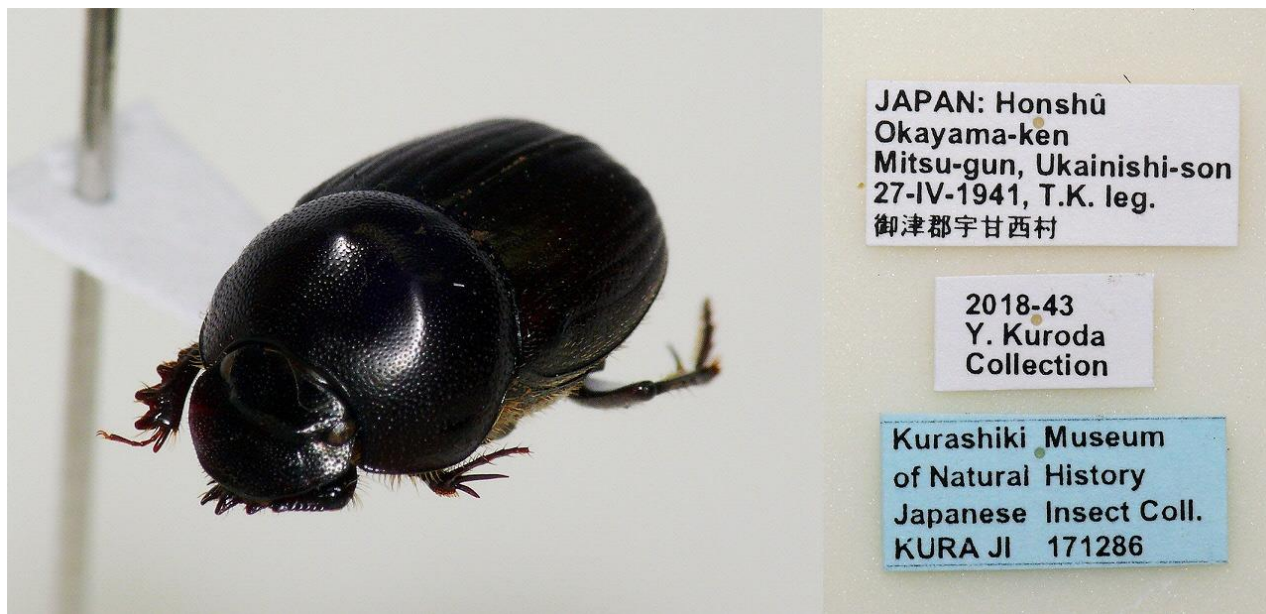


パオちゃん's EYE

2021年3月1日 発行 No.48

マルエンマコガネ



マルエンマコガネ, オス, 1941年4月27日, 御津郡宇甘西村(現岡山市北区)産。

マルエンマコガネは、動物の糞や死体に集まるエンマコガネ類の一種です。2020年3月に発行された『岡山県版レッドデータブック 2020』(県立図書館や県のホームページで閲覧可)で、新たに「絶滅」の判定が下されました。過去の文献によれば、1953年に総社市(水野, 2001, 関西甲虫談話会資料, (18)), 1954年に倉敷市(船越, 1958, すずむし, 8(1))で採集された記録がありますが、その後、67年にわたり生息情報がありません。一方、最近では、岡山市の百間川原尾島遺跡の15世紀の井戸から本種のはねが出土し(森, 2018, 所報吉備, (65)), 古くから当地域に生息していた昆虫であることがわかっています。また、近年、倉敷市立自然史博物館に寄贈された標本コレクションの中に1940年代初頭に岡山県内の複数の地点で採集された標本がそれぞれ複数個体あるのが見つかり(写真, 山地ほか, 2020, しぜんしくらしき, (115)), かつては普通に生息していた昆虫であることがわかってきました。ほかのエンマコガネ類が継続して生存できている中、なぜ本種は1950年代を境に姿を消してしまったのか、理由はわかりません。

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう! パオより

